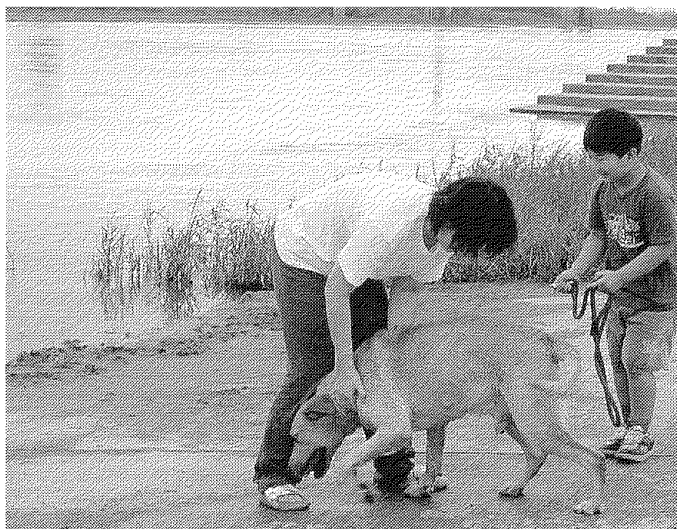


宮城

阿武隈川と親しもう



阿武隈川河川敷で遊ぶ親子連れ。従来の治水、利水という観点に加え、市民の親水空間としての価値も見直されつつある

「水辺のコンサート会場にしよう」「グライダーを」と、構想の実現に期待を込める。

づいてはいけない場所だった。河川敷の利用を通じ、市民が川をもっと親しみやすいものにする機会になれば」と、構想の実現に期待を込める。

中心とした航空公園は」。角田市の中心を縦断するよ

うに流れる阿武隈川。その河川空間を活用しようと、市民で構成する「あぶくま川河川空間整備基本構想懇話会」が先日、こんなアイデアを市に提言した。

提言を受けた市は市内に委員会を設置し、関係機関と調整して基本構想をまとめる考え。度重なる洪水の歴史に別れを告げ、治水の対象だったところをいかに親水空間として再構築していくかに注目が集まっている。

阿武隈川河川敷は、公有地と私有地が入り交じり、一部が耕作地として利用される程度だった。だが最近

懇話会の佐藤忠義副委員長は「阿武隈川は危険だと

言われ、小学校時代から近

（角田支局・斎藤秀之）